

# 人権まちづくり新聞



第13号  
編集発行  
枚方人権  
まちづくり協会

## 枚方人権まちづくり協会

### 人権尊重のまちづくりをめざして

### 総会で上野新理事長を選出

5月30日、メセナひらかた会館で枚方人権まちづくり協会の二〇一八年度総会が行われ、事業計画などを決定しました。

総会では、まず野谷浄理事長があいさつ。「枚方が人権をより大切にすまらねばならない」と述べました。続いて、来賓の伏見隆枚方市長、

木村亮太市議会副議長、奈良渉教育長からあいさつを受けました。

その後審議に入り、まず前年度の事業報告・活動決算が可決され、続いて役員選出に入り、役員選考委員会から提案のあった理事・監事就任が承認されました。

ここで総会は休憩。その間に開かれた理事会で、上野精順氏が新理事長に選出されました。

再開された総会で、今年度の事業計画、活動予算、定款の一部変更が審議され、いずれも原案通りに可決されました。続いて新役員の紹介、上野新理事長のあい



人権まちづくり協会総会

さつ、野谷前理事長の退任のあいさつがあり、総会は終了しました。その後、会員研修として「長良川ド根性」の上映会をしました。



### 「見え方の違いは個性の一つ」

色の見え方は人それぞれですが、中には一般的な見え方とは異なる見



え方をする人がいます。かつては「色盲」や「色弱」と呼ばれ、日本人では、男性で二〇人に一人、女性では五〇〇人に一人いると言われています。最近では、そうした色の識別が苦手な人に配慮したカラーユニバーサルデザインと呼ばれる工夫をした生活用品が作られるようになってきました。例えば、写真

の生活雑貨店等で売られている識別リングは、赤と青の彩度を少し上げ、照度が低い浴室でも、何のボトルかを識別しやすくしてあります。さらに、先端の凸凹の溝に沿ってカットして長さを変えることで、洗髪中に触って識別することもできます。これからもこうした工夫が拡がり、色覚に特異性のある人にとっても暮らしやすい社会になることが望まれます。

### こんなことやっています 枚方人権まちづくり協会の相談事業

〈人権まちづくり協会〉  
サンプラザ1号館5F  
【すべての人が対象】  
TEL 072-844-8788  
[人権なんでも相談]  
月～金/9時～17時半  
(木は男の生き方相談も)  
[地域就労支援相談]  
月～水・金/9時～17時半  
(要予約)  
[進路選択支援相談]  
火曜日(要予約)  
13時～17時/18時～20時  
[福祉なんでも相談]  
月～金/9時～17時半  
専用TEL 072-844-8866

〈男女共生フロア・ウィル〉  
サンプラザ3号館4F  
【女性のための相談】  
[電話相談]  
火15時-20時/水13時-17時  
木10時-15時  
専用TEL 072-843-7860  
[面接相談(要予約)]  
水13時-16時10分  
木15時-19:40/金10-15時  
TEL 072-843-5636  
[法律相談(要予約)]  
第1土/第2金 13:20-15:50  
第3木 17:20-19:50  
第4火 10:20-12:50  
TEL 072-843-5636





# 性別 って2つだけ？

## ー多様な性のあり方ー

人権啓発講演会



7月25日の猛暑の中、枚方人権まちづくり協会の自主事業として、LGBT（性的マイノリティ）関係の啓発活動等に取り組み一般社団法人ELLYから山口颯一代表と峰山和真理事をお招きし、ラポールひらかたにて講演会を実施しました。講演会には87人の参加があり、講師の「ドラえもんは男の子？」「ピカチュ

ウはどっち？」という問いかけから始まり、お話を聞くうちに「性」は多様なものであり、とてもプライベートなことだということがわかりました。

また、二人の講師自身も幼少期から性への違和感があり、周囲との違いに悩んできた経験などを話されました。そして、今なお性的マイノリティへの理解が進まず、十分に受け入れられる環境になく、一人で悩む苦しんでおられる方が多いというお話もされました。

最後に二人から「みなさんにできること、それはLGBTのALLY（アライ・支援者）になってください」と一言。性的マイノリティを含む多様な人々がALLYとなつて、自分なりにできることを行動に移してと訴えられました。

会場ロビーには大阪市淀川区が作成したLGBTに関するパネルを展示し、参加者がより理解を深める機会となりました。

理事長就任のご挨拶

## すべての人の人権が尊重されるまちへ

上野精順



野谷前理事長の後任として理事長に就任しました。誠心誠意職務に精励したいと思っていますので、よろしくご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

野谷前理事長は、後に当協会と一体となった「枚方市人権を考える市民の会」で会長をされるなど、長年にわたり「人権草の根運動」に取り組みされてきました。心よりお礼と感謝を申し上げます。ご退任後も「顧問」として残られますので非常に心強く思っております。

ところで、当協会は、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現をめざして活動しています。主な活動は、枚方市と協働して人権課題に関する市民への啓発活動、社会環境の急激な変化に伴って生じているいろんな悩みや不安、心配ごとに対する各種の相談事業、さらなる人権課題の理解や人権意識の向上のための自主活動を積極的に取り組んでいます。

しかしながら今もなお、私たちの周りにはさまざまな人権課題が存在しています。とりわけ、子どもや高齢者などへのいじめや虐待など、心を傷める、痛ましい事件があつてを絶ちません。それだけに当協会の果たす役割はますます大きくなっており、会員や市民の皆さんとともに、一人ひとりの人権が尊重され、明るい住みよいまちづくりに向けて、力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。よろしくごお願い申し上げます。

## 会員随時募集

枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされる街へ。あなたも会員に。

NPO法人枚方人権まちづくり協会  
TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799